OLSBERG

取扱説明書／設置要領書

オライオンプラス
輻射対流式ガラスパネルヒーター

目　次

本取扱説明書は、

- 設置後ユーザー様に手渡してください。また、ユーザー様は、必ずオライオンプラスの機能について説明を受けてください。
- 良くお読みいただいた後保管をして頂き、所有者が変わった場合は新しい所有者にお渡しください。

一般

オルスバーグオライオンプラスは、多様な使い方が可能です。スタイリッシュなデザイン、簡単な操作、輻射熱と対流熱の最適な関係による高い暖房能力と信頼性が、オライオンプラスの特長です。

オライオンプラスは、結露防止にもお使いいただけます

本説明書に記載された内容を、最後までよくお読みください。オライオンプラスの安全性、設置方法、使用方法、メンテナンスに関する重要な諸注意事項が書かれています。

下記の説明をお守り頂けなかった場合、保証の対象外となります。暖房以外の目的での使用は絶対にお避けください。

注意：運転中はガラスパネルが熱くなります。少し長く触れてますと低温やけどの危険があります!

本機は、お子様を含む知的・身体的能力が限られた方や、経験や知識のない人（子供を含む）が使用するようには設計されていません。これらの方が使用する場合は、その人の安全に責任を持つ人が監督するか、装置の使い方を教える必要があります。子供については、本機をいたずらをしないように監督してください。

警告：ガラス面を覆うことは、過熱の危険性を招きます! ガラスパネルの一部を例えばタオルなどで覆うだけでも、過熱、さらにはヒーターの故障や火災につながることがあります。

本機の包装材は必要最低限なリサイクル可能な材料でできています。

包装材と本機の部品は、法律で定められる内容に沿いそれぞれリサイクル処理可能です。

注意：包装材料や、機械及び部品のを行う時はお住まいの地域のルールに従い適切に処分してください。

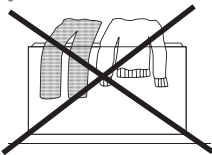
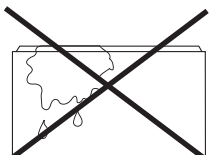
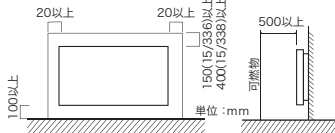
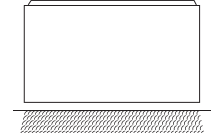
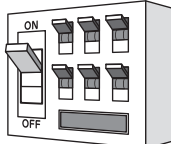
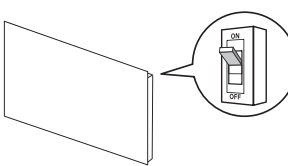
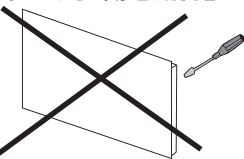
古い機械や部品の処分

古い電気・電子機器は、貴重な材料をたくさん含んでいます。しかし、有害物質を含む場合もあります。それらは機器の機能や安全のために必要だったものです。こうしたものを通常の廃棄物といっしょに廃棄したり、誤った処理をしたりすると、環境を害する場合があります。環境の保護に協力してください! 古い機器は決して通常の廃棄物といっしょに処分せず、お住まいの地域の廃棄物処理の運用ガイドラインに従って処分してください。

重要な注意事項

①電気配線および接続工事は、内線規定に基き有資格者によってなされなければなりません。
②工事や点検・修理に際しては、事前に必ず配電盤の元電源を切ってください。
③本機は、壁にしっかり固定する必要があります。壁には厚み１２mm以上の合板又は同等以上の強度を持つ下地補強を入れてください。
④使用中は表面が熱くなりますので、可燃物に対する離隔距離は上面１５０mm以上（１５／３３６），４００mm以上（１５／３３８）、左右側面は２０mm以上、床面からは１００mm以上を確保してください。左右側面の最低離隔距離は２０mmまでです。（但し、右側側面には電源スイッチが搭載されておりますのでご注意ください。電源スイッチの操作性から５０mm以上の離隔距離を確保することをお勧めします）
⑤自然対流による上昇気流により、壁面にほこり等が付着し壁面が変色する事があります。熱の影響で変色しにくい壁紙等をご使用ください。
⑥取り付け壁の材料は、準不燃クロス、石膏ボード、珪酸カルシウム板等の不燃材をご使用ください。
⑦以下の場所には設置しないでください。
- 付近に燃えやすいものがある場所。
- 塗料・シンナー等引火性の高いものがある場所。
- 可燃性のガスが発生または溜まる場所。
- 水がかかり易い場所。
- 避難経路等の付近で、万が一の非難時に支障となる場所。

⑧試運転や初めて通電した時に、煙やにおいが出る事がありますが異常ではありません。ヒーター素子や鉄板に塗られた錆止め油、機械加工時の残り油、湿気等によるもので初期の運転（通電）時に限り見られる現象です。
窓を開けたり換気扇を回す等の処置をし、十分に換気を行ってください。
⑨暖房器の性質上、不規則音が出る事がありますが異常ではありません。筐体の熱膨張による伸縮が原因であり、性能や安全性には何ら問題はありません。
⑩北海道電力管内において融雪電力契約にてご使用になる場合、コンセントプラグによる接続は出来ません。
必ず直結にて電気工事をおこなってください。

ご使用前によくお読みください **安全上のご注意 Caution**

①オルスバーグ電気パネルヒーター「オライオンプラス」は、安全性に十分考慮して設計されておりますが、より安全で快適にご使用頂く為に下記の点にご注意ください。
②お使いになる人や他の人への危害、建物・お部屋・財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。

●表示を無視して、誤った取扱をする事によって生じる内容を次のように区分しています。

⚠ **警告**	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
⚠ **注意**	「軽傷を負う、又は財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない禁止内容です。
△	「火傷の恐れあり」を表します。
●	必ずしなければならない強制内容です。

⚠ 警告　感電・火災・大ケガを防ぐために

電源ケーブル

●電源ケーブルを破損させない

無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、挟み込まない、加工しない

●電源ケーブルが傷んだ場合は使わない

（感電・ショート・発火・火災・ケガの原因）

ご使用時は

●引火性のあるものをそばに置かない

- 灯油・ガソリン
- ベンジン・シンナー
- ロウソク・線香・花火・煙草
- 本・雑誌・新聞紙・ビニール

（爆発・発火・火災・ケガの原因）

●絶対分解・修理改造はしない

（火災・感電・ケガの原因）

修理はお買上げの販売店、又はオルスバーグにご相談を。（保証書に記載）

●使用中は本体を素手で触らない

（火傷・ケガの原因）

●使用中は本体に物を置かない

- 毛布・雑巾・洗濯物
- 靴・紙・袋・ビニール
- 雑誌・ゲーム機・携帯電話

（発火・火災の原因）

●本体と壁との間に物を入れたり、本体に物を接触して置かない

（発火・火災の原因）

お手入れ時は

●お手入れ・点検時には、必ず専用ブレーカーを切る

（感電やケガの原因）

●本体が完全に冷めてから行う

（火傷・ケガの原因）

異常・故障時はすぐに使用を中止する

- スイッチを入れても暖まらない（融雪用電力使用でカット時間は除く）
- 電源ケーブルを動かすと、暖まったり冷めたりする
- 本体が変形したり異常に熱い
- コゲくさい臭いがする

直ちに専用ブレーカーを切り、販売店に点検をご依頼ください。

同梱物の確認

名　称	員　数
本体、本体背面に壁取付ブラケット付き	1 台
ボードアンカー	4 個
6角スクリュー 6×40mm	4 個
ワッシャー D=6.4mm	4 個

構造

輻射熱の効果を最適に利用するためには、暖房が必要な個所の出来るだけ近くに本機を設置してください。本機の表面から離れれば離れるほど、熱が感じられなくなります。約1～3mの距離が理想的です。

本機を設置する壁には本機の重量に十分耐えられる下地材が必要です。不明点や疑問点がある場合は販売店にお尋ねください。

電源接続用のジョイントボックスは、本機の下部ではなく、わきにご用意ください。

ガラスパネルは、強化ガラス（ESG）でできています。従来のガラスと比較して、かなり耐久性が高く、また著しく大きな衝撃力に耐えるように設計されていまが、過度の負荷は避けてください。破損した場合、ESGは角の丸い破片となって砕けるため、けがの危険性が最小限に抑えられます。

注意：ガラスパネルにもたれかかったり物を立て掛けたりする事は絶対に避けてください！

警告：万が一ガラスパネルが損傷した場合には使用してはなりません。

離隔距離

運転中はガラス面が熱くなりますので、家具や可燃物に対して以下の離隔距離を守る必要があります。

- 上方
  モデル15/336 ………… 150mm
  モデル15/338 ………… 400mm
- 側面 ………… 20mm
- 下方 ………… 100mm
- 前方 ………… 500mm

壁取付ブラケットは背面壁と本体の離隔距離が14mmとなります。

壁取付ブラケットの取付

壁取付ブラケットは、本体に取付けられた状態で梱包されています。オライオンプラスを壁に設置するためには、いったん本体から壁取付ブラケットを取り外す必要があります。
壁固定金具上部の左右両側の固定金具のロックを指で押して固定金具を緩め（図2参照）、手前引くと本体から取り外せます。
モデル15/338では、「クロススリット」（P7の写真1参照）から安全チェーンを取り外します。
本機の底部に壁取付ブラケットの下部固定部のツメが掛っていますので少し上方にずらすようにしてツメを外してます。

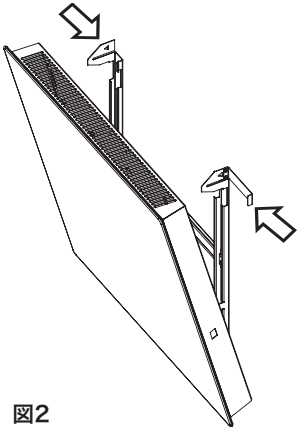



図2

組み立て順序：

- 壁取付ブラケットを壁面の希望の位置に当て、水準器等で水平になる様に取付けます。（図4a および4b参照）。

（mm）

モデル	幅	高さ
15/336	800	600
15/338	600	1400

注意：離隔距離を守ってください! 所定の取り付け穴を使用してください!

- 同梱のボードアンカーを使用する場合には、直径8mmの穴をあけます（深さ約50mm）。

木下地に取付ける場合はタッピングビスを使用してください。その際はワッシャー等を使用して壁取付金具に予め開けられた固定用の穴からタッピングビスの頭が抜けないように配慮してください。

注意：同梱のねじとボードアンカーは、セメント、レンガ、あるいは石でできた壁など、高密度の壁への取り付けに適しています。空洞の壁や、軽量コンクリートの壁には適していません。下地に合せたビスをご用意の上壁取付金具を固定してください。ねじ頭の高さは、最大8mmとします。

- 付属のねじ6×40とワッシャー D=6.4を使って壁取付ブラケットを仮固定し、水準器を使って水平を確認しながら、ねじをきつく締めます。

本機の取付

モデル15/336：
壁取付ブラケットの下部固定金具のツメに本体を引掛けます。(図3参照)。中間の脱落防止用の爪と上部の固定金具を本体のスリットに差し込み、固定用のラッチが「カチッ」と音がするまで押し込みます。

モデル15/338：
15/338は脱落防止の為にチェーンを装着しています。
下部固定金具に本体を引っ掛けた後、背面パネルのクロススリットに壁取付ブラケットに取付られたチェーンの先端を水平に引っ掛けます。左右のチェーンをクロススリットに引っ掛けた後、固定用ラッチが「カッチ」と音がするまで本体を押し込みます。(写真1,2 を参照)

写真1　クロススリット

写真2
チェーンによる本体固定

全モデル対象：
注意：本体から壁取付ブラケットを取り外すときに固定金具のラッチが歪まないように注意してください。万が一歪んだ場合は、本体取付時に確実に固定されるよう修正してください。

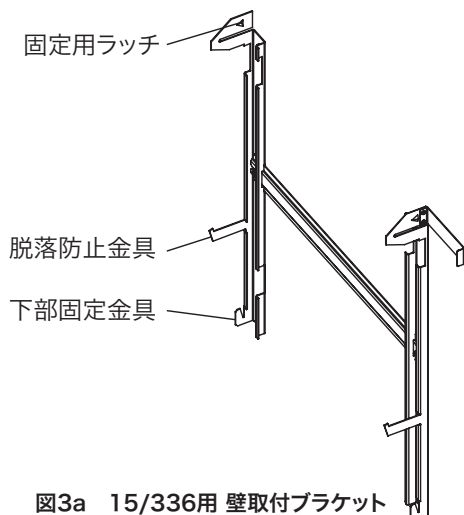



図3a　15/336用 壁取付ブラケット

図3b
※15/338用の壁取付ブラケットには「脱落防止金具」のツメがなく、代わりにチェーンを使用しています。

図4aおよび4bでは、ガラスパネルの外形に点線が引かれています。

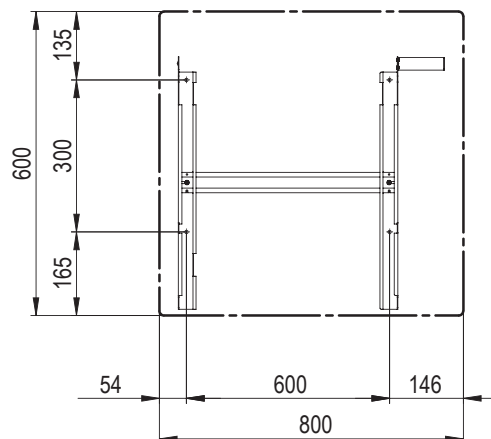



図4a　モデル15/336

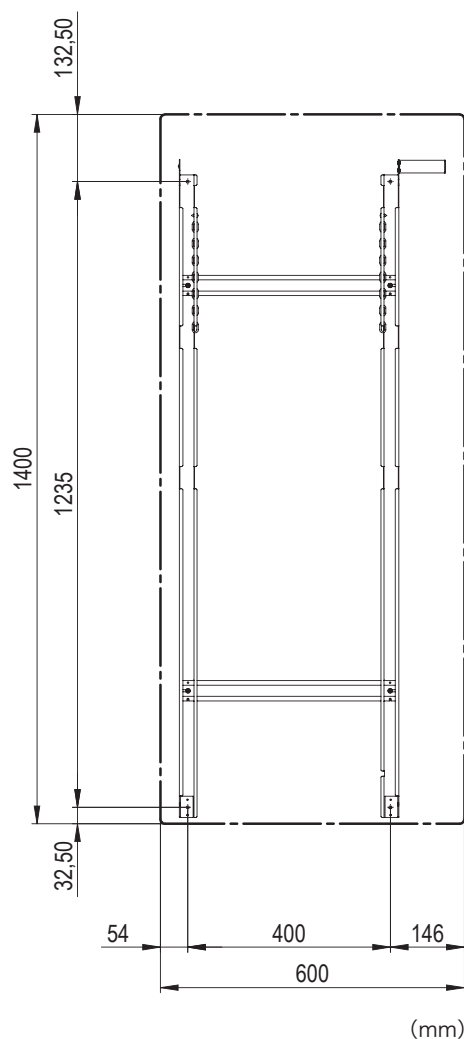



図4b　モデル15/338

電気接続

- オライオンプラスは絶対に分解しないでください。
- 本体には、単相200V（50/60Hz）専用の配線用遮断器（ブレーカー）を用意してください。
- 電源ケーブルは自然対流用のグリルを通したりせず、最適な長さにカットし結線ください。
- 屋内配線との接続は、本体電源ケーブル（単相200V）をジョイントボックス内で直結してください。
  茶色：単相200V電源
  青色：単相200V電源
  黒色：使用しません（必ず絶縁処理してください）
  黄色／緑色：アース（必ずアース処理をしてください）

暖房運転

オライオンプラスは、自然対流と輻射の2つの暖房方式を組み合わせています。自然対流では本体内部のシーズヒーターの熱が対流し、輻射ではフィルムヒーターがガラスパネルを加熱して輻射熱として室内を暖房します。

注意：
ガラスパネルは、タッチエリア等一部加熱されないエリアがあります。

本機と暖房を必要とする空間の間に、物を置くと暖房管感が損なわれます。

ディスプレイ（タッチエリア）

タッチエリアは、ガラスパネルの右端に位置しています。タッチエリア（図5aおよび5b参照）のガラス面に触れると、操作および運転ディスプレイが点灯表示されます。

タッチエリアには、3種類のディスプレイがあります。

1.〔室温／時刻ディスプレイ〕

2.〔運転ディスプレイ〕
ここには、運転状態（快適、省エネ、または結露防止運転）や、現在の室温、時刻が表示されます。

3.〔操作ディスプレイ〕
タッチエリアに触れると、操作ディスプレイが点灯し表示されます。
10秒間何も操作しないと、操作ディスプレイは自動的に消灯し、運転ディスプレイのみの表示に戻ります。

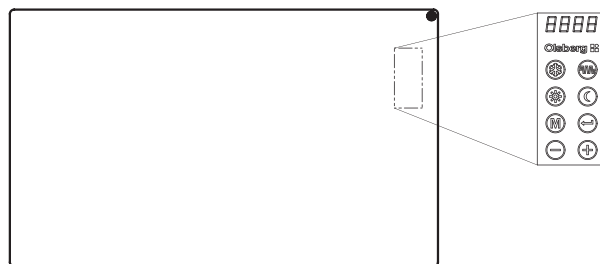



図5a　モデル15/336のタッチエリア

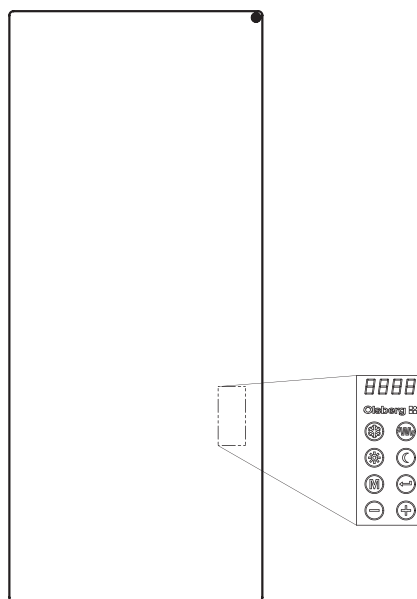
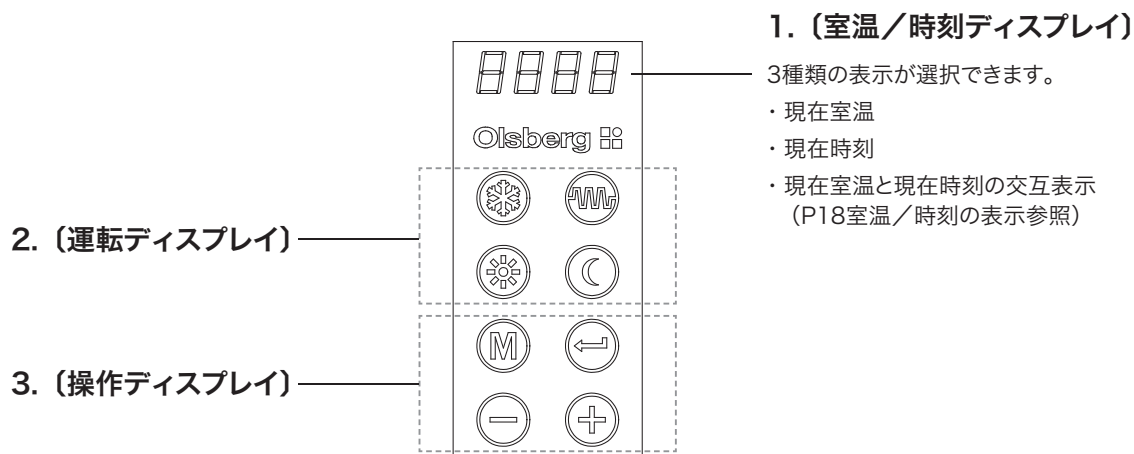
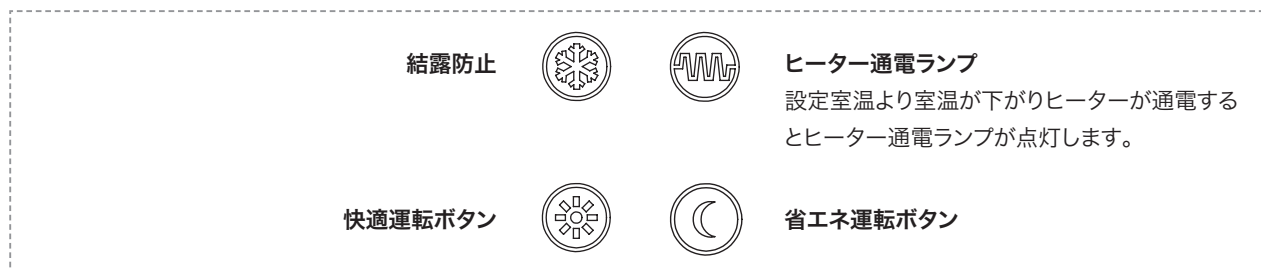
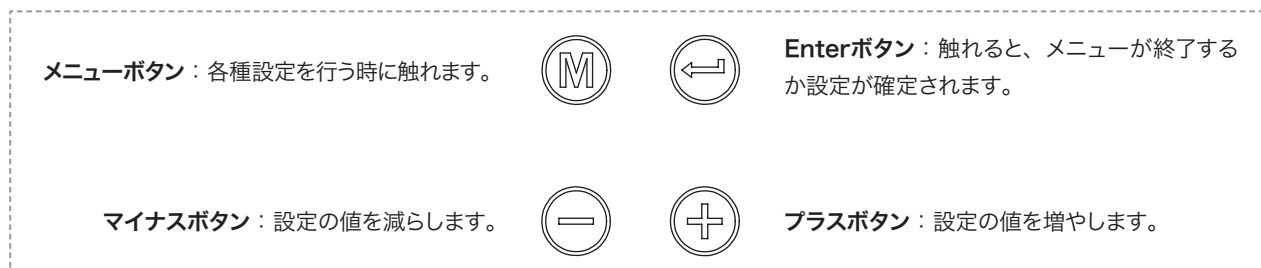
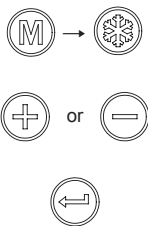



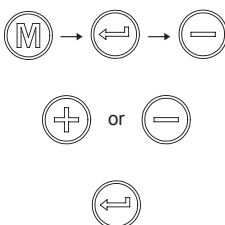
図5b　モデル15/338のタッチエリア

タッチエリアの説明

2.〔運転ディスプレイ〕

3.〔操作ディスプレイ〕

基本操作

タッチエリアには、操作可能なボタンだけが表示されます。
複数の機能が可能である場合は、選択された機能のボタンが点滅し、その値を変更できます。運転状態のまま、複数の機能を連続的に選択し、その値を調整することが可能です。

運転中、設定の為に複数のボタンに触れる必要がある場合、各ボタンは短い間隔（約1.5秒）で触れる必要があります。

ガラスパネルに表示される各ボタンを指先で触れると信号音が発せられます。複数のボタンを操作する必要がある時は、一旦ガラス面から指を離してから次のボタンに触れてください。。

Ⓜ を押すことにより、選択したメニューはいつでも取り消すことができます。
本機はタッチパネルを採用していますが、万が一触れても反応しない又は触れていないのに設定が変わる等の症状が見られた場合、一度電源を切って入れ直してください。それまでに設定した内容はそのまま残ります。

試運転

①本機の右側面にあるメインスイッチをONにします。
　初めて電源を入れた時、約10秒後にディスプレイには「-- : --」と表示されます。
②時刻と日付の設定
「時刻と日付の設定」の説明に従い時刻と日付を設定してください。
　※約3日間停電が続いた場合、時刻と日付はリセットされ「-- : --」と表示されます。
　　その時は同じ手順で時刻と日付を再設定してください。

時刻と日付の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「時刻と日付の設定」メニューを表示するには、Ⓜ に触れ、その直後に ❄ に触れます。 時刻が表示されます。 変更対象の値が点滅ししますので、⊕ または ⊖ で値を変更し ⏎ で確定します。 時→分→日→月→年と順番に表示されます。日付と時刻を設定すると、欧州のサマータイムへの切り替えが自動的に実行されます。	Ⓜ → ❄ ⊕ or ⊖ ⏎	13:48 Olsberg

③サマータイムの自動切替えの設定
　本機はサマータイムの自動切替え機能を持っています。
　※サマータイムの自動切替機能がONになっている場合、3月最終日曜日から10月最終日曜日までの期間の時計時刻が狂いますのでご注意ください。
　サマータイム機能の解除方法は次頁を参照ください。

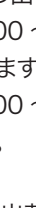
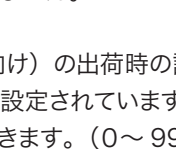
サマータイムの自動切替え設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
欧州のサマータイムの自動切替えは、3月の最終日曜日と、10月の最終日曜日に行われます。 サマータイム制度がない日本では、必ず設定をオフ「St=0」で使用ください。 「サマータイムの自動切替」メニューを表示するには、Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ に触れ、もう一度 ⏎ に触れます。 以下が表示されます。 "St 1"＝夏時間オン、サマータイムの自動切替えは有効（出荷時の設定） "St 0"＝夏時間オフ、サマータイムへの自動切替えは無効 変更した設定は ⏎ で確定します。	Ⓜ → ⏎ → ⊖ ⊕ or ⊖ ⏎	St 1 Olsberg

HAND モード

最初の試運転の為にメインスイッチをOnにすると、HANDモードとなります。
HANDモードは、必要な時だけ手動運転を行いたい場合に使用します。

HANDモードでは快適モードと省エネ運転モードを手動で切り替えてご使用頂けます。手動で設定した内容で継続運転し、設定した室温はディスプレイに表示されます。

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
快適運転 ☼ で快適運転が選択でき、 ⊕ または ⊖ に触れることによって快適室温が調整できます。 設定した値は自動的に保存されます。 出荷時の設定：20℃	☼ ⊕ or ⊖	20°C Olsberg
省エネ運転 ☾ で省エネ運転が選択でき、 ⊕ または ⊖ に触れることによって省エネ運転時の室温が調整できます。 設定した値は自動的に保存されます。 出荷時の設定：16℃	☾ ⊕ or ⊖	16°C Olsberg

快適運転と省エネ運転を自動で切替えて使用したい場合は、動作モードをHOMEモードまたはOFFICEモードに変更する必要があります。本機を別荘等で週末だけ使用する場合は、CABINモードを推奨します。

動作モードの変更

本機を手動でのみ運転したい場合は、HANDモードでお使い頂けますが、快適モードから省エネモードへの自動切替等便利な機能をお使い頂く場合、動作モードの変更が必要です。

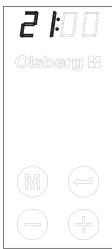
○HOMEモード：一般住宅向け。
　　月～金の日中と、月～日の夜間に省エネ運転で自動運転します。
○OFFICEモード：事務所など平日中心にお使いになる場所向け。
　　月～金の夜間と週末（土・日）に省エネ運転で自動運転します。
○CABINモード：別荘等週末だけお使いになる住宅向け。
　　不在となる日数を設定すると、自動的に設定した日数の省エネ運転で運転します。（0～ 99日）

注意：動作モードを変更すると、温度と時刻の設定内容は工場出荷時の設定に戻ります。

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「動作モードの変更」メニューを表示するには、Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて ❄ ボタンに触れます。 HA＝HANDモードが表示されます（出荷時の設定）。 HAが点滅し、これは ⊕ または ⊖ で変更、⏎ で確定できます。 以下が順番に表示されます。 ○HA　=HANDモード ○HO　=HOMEモード ○OF　=OFFICEモード ○CA　=CABINモード ⏎ で動作モードを確定すると、ディスプレイ内のドットが数秒間点滅します。このときに選択した動作モードの設定が読み込まれます。 ○ HOMEモード（一般住宅向け）の出荷時の設定： 日中省エネ運転：月～金　11:00 ～ 16:00 夜間省エネ運転：月～日　23:00 ～ 06:00 ※設定温度と時刻の変更が出来ます。 ○OFFICEモード（事務所向け）の出荷時の設定： 夜間省エネ運転：月～金　17:00 ～ 7:00 ※設定温度と時刻の変更が出来ます。 週末省エネ運転：土～日　00:00 ～ 24:00 ※設定内容の変更は出来ません。 ○CABINモード（別荘等向け）の出荷時の設定： 不在日数は0日（A0）に設定されています。 ※不在日数の変更のみできます。（0～ 99日）	Ⓜ → ⏎ → ❄ ⊕ or ⊖ ⏎	HO Olsberg

HOME モード

快適運転の室温の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「快適運転の室温設定」メニューを表示するには、Ⓜ に触れ、その直後に ☼ に触れます。 現在設定されている快適運転時の設定室温が点滅し、⊕ または ⊖ で設定室温を変更できます。 変更後に ⏎ に触れると設定内容が確定します。 出荷時の設定：20℃	Ⓜ → ☼ ⊕ or ⊖ ⏎	21°C Olsberg

省エネ運転の室温の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「省エネ運転の室温設定」メニューを表示するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ☾ に触れます。 現在設定されている省エネ運転時の設定室温が点滅し、⊕ または ⊖ で設定室温を変更できます。 変更後に ⏎ に触れると設定内容が確定します。 出荷時の設定：16℃	Ⓜ → ☾ ⊕ or ⊖ ⏎	15°C Olsberg

日中の省エネ運転時刻の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
出荷時の「日中省エネ運転時刻」の設定内容が変更できます。 出荷時の設定：11:00 ～ 16:00（曜日の変更はできません） 「日中の省エネ運転時刻の設定」メニューを表示するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ⊕ に触れます。 日中の省エネ運転の開始時刻の「時」が点滅します。 ⏎ に触れるごとに開始時刻の「時」→「分」→終了時刻の「時」→「分」と点滅箇所が変わります。 ⊕ または ⊖ で点滅箇所の変更ができます。（「分」は10分単位で設定できます） 終了時刻の「分」の設定後 ⏎ に触れると変更内容が確定し、その時点の運転マーク（☼ または ☾）とともに設定されている室温が点滅表示します。 ※その際温度を変更すると、設定室温が変更されますのでご注意ください。	Ⓜ → ⊕ ⊕ or ⊖ ⏎	7:00 Olsberg

夜間の省エネ運転時刻の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
出荷時の「夜間の省エネ運転時刻」の設定内容が変更できます。 出荷時の設定：23:00 ～ 6:00（曜日の変更はできません） 「夜間の省エネ運転時刻の設定」メニューを表示するには、Ⓜ に触れ、その直後に ⊖ に触れます。 毎夜の省エネ運転開始時刻が表示されます。 変更対象の値が点滅し、これは ⊕ または ⊖ で設定でき、⏎ で確定できます。 毎夜の省エネ運転開始時刻と終了時刻が交互に表示されます。 夜間の省エネ運転開始時刻の「時」が点滅します。 ⏎ に触れるたびに開始時刻の「時」→「分」→終了時刻の「時」→「分」と点滅箇所が変わります。 ⊕ または ⊖ で点滅箇所の変更ができます。 終了時刻の「分」の設定後 ⏎ に触れると変更内容が確定し、その時点の運転マーク（☼ または ☾）とともに設定されている室温が表示されます。 ※その際温度を変更すると、設定室温が変更されますのでご注意ください。	Ⓜ → ⊖ ⊕ or ⊖ ⏎	21:00 Olsberg

快適運転または省エネ運転の室温の一時的変更

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
⊕ または ⊖ に触れることによって、快適運転または省エネ運転室温の設定値を一時的に変更できます。この設定は、快適運転および省エネ運転の開始時刻になると、事前に設定した内容に自動的に復帰します。	⊕ or ⊖	25°C Olsberg

快適運転と省エネ運転の一時的切り替え

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
☼ または ☾ に触れることによって、快適運転と省エネ運転を一時的に切り替えることができます。この設定は、快適運転および省エネ運転の開始時刻になると、事前に設定した内容に自動的に復帰します。	☼ or ☾	16°C Olsberg

OFFICE モード

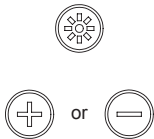
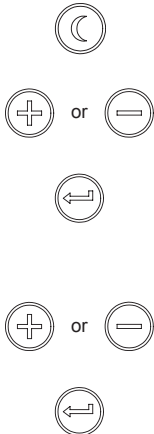
快適運転の室温の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「快適運転の温度設定」メニューを表示するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ☼ に触れます。 現在設定されている変更対象の快適室温が点滅し、これは ⊕ または ⊖ で設定できます。 変更後に ↵ を触れると設定内容が確定します。 出荷時の設定：20℃	Ⓜ → ☼ ⊕ or ⊖ ↵	21°C

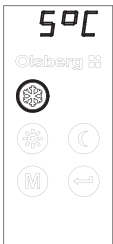
省エネ運転の室温の設定

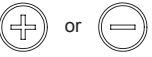
記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
「省エネ運転の室温設定」メニューを表示するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ☾ に触れます。 現在設定されている省エネ運転の温度が点滅し、これは ⊕ または ⊖ で設定できます。 変更後に ↵ に触れると設定内容が確定します。 出荷時の設定：16℃	Ⓜ → ☾ ⊕ or ⊖ ↵	15°C

夜間の省エネ運転時刻の設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
出荷時の「夜間の省エネ運転時刻」の設定内容が変更できます。 出荷時の設定：17:00 ～ 7:00（曜日の変更はできません） 「夜間の省エネ運転時刻の設定」メニューを表示するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ⊖ に触れます。 夜間の省エネ運転の開始時刻の「時」が点滅します。 ↵ に触れるたびに開始時刻の「時」→「分」→終了時刻の「時」→「分」と点滅箇所が変わります。 ⊕ または ⊖ で点滅箇所の変更ができます。(「分」は10分単位で設定できます) 終了時刻の「分」の設定後 ↵ に触れると変更内容が確定し、運転マーク（☼ または ☾）とともに設定されている室温が点滅されます。 ※その際温度を変更すると、設定室温が変更されますのでご注意ください。 ※週末省エネ運転の設定内容は変更できません。 （土～日：0:00 ～ 24:00）	Ⓜ → ⊕ ⊕ or ⊖ ↵	7:00

快適運転または省エネ運転の室温の一時的変更

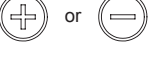
記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
⊕ または ⊖ に触れることによって、快適運転または省エネ運転の室温の設定値を一時的に変更できます。この設定は、快適運転および省エネ運転の開始時刻になると、事前に設定した内容に自動的に復帰します。	⊕ or ⊖	25°C

快適運転と省エネ運転の一時的切り替え

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
☼ または ☾ に触れることによって、快適運転と省エネ運転を一時的に切り替えることができます。この設定は、快適運転および省エネ運転開始時刻になると、事前に設定した内容に自動的に復帰します。	☼ or ☾	16°C

CABIN モード

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
在室時の設定 で在室時の室温設定が選択でき、 または で設定室温が調整できます。 設定した室温は自動的に保存されます。 出荷時の設定：20℃	or	20°C Olsberg M
不在時の設定 で不在となる日数を設定すると、自動的に省エネ運転に切り替えることができます。 に触れると「A 0」が点滅します。 または で0日～ 99日までの不在日数を設定でき、 で設定変更を確定します。 ●不在日数には設定日も含みます。 ●Aは不在（AWAY）を意味します。 不在期間中の省エネ運転の温度が点滅します。 出荷時の設定：10℃ 省エネ運転の設定室温は または で変更でき、 で確定する必要があります。（最低5℃） 設定した不在日数を経過すると、自動的に快適運転に戻りますが、24時間以内に に触れないと再度不在と判断し、自動的に省エネ運転に戻り、設定された不在日数間省エネ運転が開始されます。	or or	A 0 Olsberg M 10°C Olsberg M

凍結防止運転

凍結防止運転は、室温が5℃以下になると自動的にヒーターが通電し、室温が5℃より低くなるのを防ぎます。
凍結防止運転をONにすると、現在の動作モード（HAND、HOME、OFFICE、CABIN）が中断され、手動で快適運転または省エネ運転に戻すまで、凍結防止運転のままになります。快適運転または省エネ運転に戻すと、それぞれに設定された動作モードに自動的に戻ります。

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
で、凍結防止モードが選択できます。 設定した値は自動的に保存されます。 出荷時の設定：5℃		5°C Olsberg M

室温／時刻の表示

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
室温／時刻ディスプレイの表示内容を変更するには、 Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて ☾ に触れます。 表示内容は ⊕ または ⊖ で変更でき、以下の3種類から選択できます。 ●室温 ●時刻 ●室温と時刻の交互表示 ※室温と時刻の交互表示を選択した場合、室温と時刻の表示は5秒間隔で切り替ります。 表示として室温が選択されていた場合、⏎ に触れると時刻を2秒間表示できます。	Ⓜ → ⏎ → ☾ ⊕ or ⊖ ⏎	23°C

チャイルドロック

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
意図しない操作を避けるために、チャイルドロックを掛ける事ができます。 **チャイルドロックON** Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて Ⓜ に触れます。 Prot（protection＝保護）が表示されます。 **チャイルドロックの解除** Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて Ⓜ に触れます。	Ⓜ → ⏎ → Ⓜ	Prot

ディスプレイの明るさ設定

記 述	操 作	ディスプレイ タッチエリア
タッチエリアのディスプレイの明るさは、100%（B 5）から0%（B 0）まで、6段階で調節できます。 出力時の設定：B 3 ディスプレィの明るさを調整するには、Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて ☼ に触れます。 明るさレベルは ⊕ または ⊖ で変更でき ⏎ で確定します。 B 0に設定するとディスプレィは消灯しB 0に設定した場合、タッチエリアに触れると約10秒間点灯します。	Ⓜ → ⏎ → ☼ ⊕ or ⊖ ⏎	b 3

表示される室温の補正

記 述	操 作	ディスプレイエリア
ディスプレイに表示される現在室温が実際の室温とずれている場合は、表示温度の補正が出来ます。。 表示される室温を補正するには、Ⓜ に触れ、その直後に ⏎ 、続いて ⊖ に触れます。 室温が点滅表示しますので、⊕ または ⊖ で実際の室温に修正し、⏎ で確定します。	Ⓜ → ⏎ → ⊖ ⊕ or ⊖ ⏎	25°C Olsberg

停電または長時間使用しない場合

停電やメインスイッチを切った状態が3日を超えた場合は時計がリセットされ、時刻を再設定する必要があります。ディスプレイには、- - : - - が点滅表示されます。時刻を再度設定（「時刻の設定」の章を参照）した後は、現在の動作モードが継続します。

CABINモードでは、時計がリセットされた場合、不在日数が1日に設定され、通電した時に本機は快適運転で動作することになります。

メンテナンスとお手入れ

- オルスバーグのオライオンプラスは、特別なメンテナンスを全く必要としません。
- ほこりが過度に発生する部屋では、空気の入り口と吹き出し口のスリットを時々掃除機で清掃し、ほこりがこびりつかない様にしてください。
- 必要であれば、本体を壁取付金具から取り外して、本体の裏側部分を清掃することもできます。背面の清掃を行うには、壁取付ブラケットの左右両側にあるラッチを指で押して固定ラッチを緩め、それと同時に本体を前方に傾けて、本体が固定ブラケットまたは安全チェーンで斜めに保持された状態にします。（P6の図2参照）。
  また、P21の「お手入れ時のご注意」をよくお読みください。
- オライオンプラスのお手入れには、ガラスクリーナーをお勧めします。研磨剤は、ガラスや塗装面に擦り傷が付く原因となりますので、使わないでください。

注意：本機の清掃は、本体が冷めている時におこなってください！

ガラス面のタッチエリアを清掃するときは誤動作を避けるために、メインスイッチ切ってから行ってください。

製品仕様

- 電圧 … 単相200V
- 保護クラス … I
- 保護タイプ … IP24
- 室温設定範囲

a) 快適運転モード … 約15℃～ 30℃
b) 省エネ運転モード … 約5℃～ 20℃
省エネの為に25℃以下に設定してお使いになる事をお勧めします。
本機の能力に対して部屋が広すぎる場合、設定した室温に達しない場合があります。

モデル	出力 （ワット）	寸法 幅×高さ×奥行[1]（mm）	重量 (kg)	室温制御
15/336	1125	800×600×64	15	電子制御
15/338	1500	600×1400×64	29	電子制御

[1] 奥行の寸法は壁取付ブラケットを除きます。壁取付ブラケットの奥行：14mm

お手入れ時のご注意

⚠注 意　感電・火傷・火災・変色を防ぐために

本体のお手入れ

●本体のスイッチを切りにするか、専用ブレーカーを切って、完全に本体が冷たくなってから開始してください。
（火傷・ケガの原因）

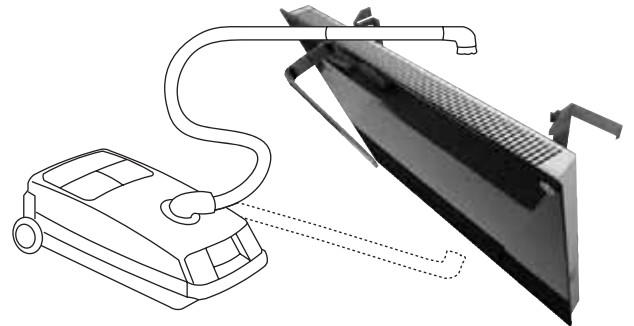
●本体の回りは定期的に掃除をして、ホコリなどを取り除いてください。

- 上部温風吹出し口
- 背面部・前面部
- 底面吸い込み口

（変色・発火・火災の原因）

●金具の取り外し方
（取扱説明書 P7 参照）

●定期的に拭いてください
中性洗剤をご利用ください。
内部に洗剤が掛からないように注意してください。
軟らかい布をご使用ください。
大量に水分を含んだ布では拭かないでください。
（変色・臭い・漏電・ショートの原因）

●拭く時には引火性のものは使用しないでください
シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油
塩素系洗剤
（塗装の傷み・変色・発火・火災の原因）

※自然対流により発生する上昇気流の影響で、壁面及び本体背面等に付着したホコリ以外にタバコの煙・ヤニ等により変色する場合があります。

取扱説明書 P7

ブラケットの爪を押す時は、指先を怪我しない様注意しながら押してください。

取扱説明書 P7　背面金具の取り外し

（右側）

（左側）

取扱説明書 P7　本体と壁取付ブラケットの取り外し

下部固定金具

脱落防止金具

運転期間中は、
ホコリ等が付かないように
掃除をしてください。

故障かなと思ったら

温まらない：
- メインスイッチはONになっていますか?
- 設定温度は実際の室温より高いですか?

放射熱が低すぎる：
- 本機と人との距離が離れすぎていませんか?
- 本体の出力は部屋の大きさに対して適正ですか?
- 本機と人との間に物が置いてありませんか?
- 設定した室温に実際の室温が達していませんか?

※上記内容に該当しない場合はお買求めの取扱店にご連絡ください。

銘板シール

モデル毎の技術データは銘板シールに明記されています。これは本機の右側面に貼られています。

図6　銘板シール

設置時にここに記入しておくことをお勧めします。

型番　　　：____________________

製造番号　：____________________

スペアパーツ

スペアパーツの交換には必ず純正品を使用し、交換は専門家が行う必要があります。販売店にご相談ください。
お客様の要望を迅速に処理するために、銘板シールに記された型番と、製造番号をお知らせください。型番と製造番号は銘板シールに記されています。

付属品（別売品）

タオルレール
15/338用：... 部品番号：15/3351.9200
15/336用：... 部品番号：15/3361.9200
タオルを温めたり湿ったタオルを乾かしたりするために、タオルレールを設置することが出来ます。。
オプション品（別売品）に添付の説明書をよくお読みください。

図8　タオルレール取付けイメージ

回路図

操作部（タッチパネル）
室温センサー
メイン基板
GRD
黄色／緑色
PE
青色
N
P
黒色（未使用）
単相 200 V
茶色
L
L`
N`
1
3
2
電源スイッチ
温度過昇防止器
対流用ヒーター
輻射用ガラスヒーター
（温度過昇防止器 x 2 付）